

令和4年度第1回「枝幸町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」 議事録

日 時	令和4年（2022年）9月30日（金） 10：00～11：30
場 所	役場本庁3階 第1・第2会議室
出席者	別添名簿のとおり（町長が挨拶のため出席）
開会前	※課長から委員紹介 開会に先立ち、町長の挨拶。
議 事	<p>1 冒頭説明 課長から冒頭説明。 ・ 定足数充足により会議が成立。</p> <p>2 議事（1）「枝幸町ふるさと創生総合戦略の進捗状況等について」 ・ 戦略推進グループ主幹から別冊資料「枝幸町ふるさと創生総合戦略進捗管理シート」、「地方創生関係交付金事業の効果検証」及び「地域おこし協力隊活動報告」について説明。 【質疑・意見】 ㊦あり ㊧なし</p> <p>■委員 指標名No.8「ファミリーサポートセンター会員数・援助活動数」、No.10「多世代交流イベントの参加者数」の補足説明として、コロナ過の状況の中、3密を避けた中で色々工夫を凝らしたイベントの開催内容等について報告。</p> <p>■事務局 「にじをつなぐ会」においては独自に色々な事業を展開していただいていることは承知している。あまり無理をしない中でこれかも活動を続けていただきたい。</p> <p>■委員 指標名No.41「奨学金償還支援助成利用数」令和3年度末の利用者数56人のうち、公務員は何人いるのか。</p> <p>■事務局 30人。ただし、看護師や保育士の人数も含んでいる。</p> <p>■委員 民間企業に就職する者の利用が少ないのではないか。</p> <p>■事務局 枝幸に戻ってきて民間企業に就職する方が少ない。公務員の利用については認定期間、助成金額の見直しを行っている。</p> <p>■委員 「地域おこし協力隊」で採用している「公営塾」の塾長については令和5年5月までの任期となるが、その後の予定は、地域に定住できるようサポートも必要では。</p>

	<p>■事務局 「地域おこし協力隊」の任期は3年であるが、コロナウイルスの長期化により任期中に十分な活動ができない隊員が多いことから、2年を上限として任期の特例が認められている。任期終了後の意向については未定だが、活動を通じて地域に溶け込み、定住も視野に町として努力する。</p> <p>■委員 公営塾の浅野さんは、「三笠山展望閣」や「にじの森」にも顔を出し、地域に溶け込もうと努力している。公営塾は枝幸高校とバスターミナルの2階で行っており、バスターミナルでの状況は私も見学させていただいた。塾スタッフは一生懸命頑張っているの、皆さんも是非見学していただきたい。</p> <p>3 議事(2)「枝幸町ふるさと創生総合戦略の改訂について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略推進グループ主幹から別冊資料「枝幸町ふるさと創生総合戦略(改訂版)の概要」、「枝幸町ふるさと創生総合戦略新旧対照表」及び「新旧対照表に関する主な説明事項」により説明。 <p>【質疑・意見】 <input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>■委員 「人口ビジョン」は改訂を行わないとのことだが、前回作成時から急速に人口が減少している。今後、色々と事業を実施していく上で「人口ビジョン」を基本とするならば、施設建設などの際に過大となるのではないか。</p> <p>■事務局 人口については、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計に直近の国勢調査人口の確定値に基づき推計もしている。人口ビジョンは将来の展望として提示しているものであり、事業の実施にあたっては個別に推計を行う。</p> <p>4 その他 戦略推進グループ主幹から報告。</p> <p>① 今回の改訂について、本日の有識者会議での意見を踏まえ、改めて会議を開催する予定はない。本日の内容については理事者へも報告する。改定後は町のホームページへの公表と合わせ、委員へも冊子を送付する。</p> <p>② 有識者会議については基本的には年1回の開催となる。ただし、今回のように変更や協議事項が発生した場合には、別開催する。</p> <p>【質疑・意見】 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
--	--

以上